

園芸市場情報

平成25年3月号

www.pref.chiba.lg.jp/seisan/engei/

発行：千葉県農林水産部生産販売振興課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407 FAX：03-5492-5407

3月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前前年並、相場は前年を下回るか！

果実類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

花きは、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

連載 第62回 特ダネ・花前線 P13

連載 第69回 やっちゃば閑話
「変化する時代に生き残る」 P15

<今月の写真>

♪♪♪ 青果売場はすでに春 ♪♪♪

立春を過ぎると量販店の店頭には「春の味覚」コーナーがもうけられ、また、東京都中央卸売市場大田市場でも、春商材の試食宣伝活動が繰り広げられています。

2月21日 東京都内量販店青果売場



2月15日 博多蕾菜(つぼみな)



2月16日 山形県
新庄・もがみの山菜



3月4日 熊本県JA鹿本の西瓜

←写真は
昨年の様子



2月23日 愛知県のふき

CONTENTS

I 青果情報

- 01 2月（中旬まで）の経過
- 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と単価
- 04 3月の見通し
- 05 品目別生産出荷概況
- 05 なばな特集
- 06 だいこん、にんじん
- 07 キャベツ類、ほうれんそう
- 08 ねぎ、レタス類
- 09 きゅうり、トマト

II 花き情報

- 10 2月の経過（販売経過、入荷量と単価の経過、品目別経過）
- 11 3月の見通し
- 11 カーネーション、キンセンカ
- 12 ストック、菜の花
- 13 特ダネ・花前線 Photoレポート in 大田市場

III 千葉県内市場における園芸品の市況概況

- 14 1月の青果物と花き

IV やっちゃんば閑話

- 15 「変化する時代に生き残る」

V 首都圏掲示板

- 16 京王ストア桜ヶ丘店にて「千葉の食・総合フェア」を開催！

※「本県野菜市場調査結果（出荷品の評価）」については、平成24年3月をもって終了しました。

用語解説

園芸市場 情報に 使用する 主な用語 解説	急騰	：前日に比べ大幅に価格が上がる。（3割程度以上）	変動の 幅を 示す 用語	平年並	：±2%以内
	強い	：前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	：±3～5%
	強保合	：前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	：±6～15%
	保合	：前日とほとんど同じ価格。		大幅	：±16%以上
	弱保合	：前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	：前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	：前日に比べ大幅に価格が下がる。（3割程度以上）			
	まちまち	：産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 2月（中旬）までの経過

野菜類

気 象	本県(千葉市)の2月上中旬の気象データでは、平均気温 6.1℃（平年比-0.1℃）と平年並、日照時間は 99 時間（平年 118 時間）と平年より大幅に少なく、降水量は 38.0 mm（平年 38.9 mm）と平年並であった。
入荷量	東京都中央卸売市場の入荷野菜は、関東産、西南暖地産が中心となった。 入荷量は、2月中旬に入り、寒さが緩み生育が進んだ「だいこん」「レタス類」「きゅうり」「トマト」等多くの品目で前年よりも多くなった。 なお、「ほうれんそう」は、上中旬を通して前年より大幅に増加し、「にんじん」「ねぎ」は低温の影響が残り、上中旬とも前年よりもかなり少なかった。 結果、入荷量は2月上中旬で 83,204t（前年比 98.0%）と前年並となった。
相 場	2月中旬に入荷量が増加した「ほうれんそう」「だいこん」「レタス類」「きゅうり」等多くの品目で高値基調であった前年よりも大幅な安値となった。一方、入荷量が少なかった「にんじん」は前年よりもかなり高値となった。 結果として、価格は2月上中旬計で 221 円/kg（前年比 88.7%）と前年よりかなり安値となった。

果実類

入荷量	「みかん類」「りんご類」「いちご類」を中心に出回った。 入荷量は、裏年の「みかん類」は前年よりかなり少なく、作柄良好な「りんご類」はかなり多く、気温が上がり生育進んだ「いちご類」は大幅に多くなった。 結果として、入荷量は2月上中旬計で、25,665 t（前年比 92.6%）と前年よりかなり少なくなった。
相 場	消費がふるわない「みかん類」や、入荷量が増加した「りんご類」「いちご類」は前年より大幅な安値となった一方、輸入果実はフィリピンバナナの不作の影響を受け、かなり高値となった。 結果として、2月上中旬計で 351 円/kg（前年比 95.0%）と前年よりもやや安値となった。

東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格

平成25年1月下旬～2月上中旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	産地	1月下旬				2月上旬				2月中旬				2月上中計			
		開市日数		本年8日・前年8日		開市日数		本年7日・前年9日		開市日数		本年7日・前年7日		開市日数		本年14日・前年16日	
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	—	48,124	108.2	236	97.2	41,631	91.5	232	93.6	41,573	105.4	210	83.8	83,204	98.0	221	88.7
だいこん	全国	4,981	118.4	100	105.2	4,010	93.0	110	100.0	4,318	110.1	94	74.5	8,328	101.2	102	86.4
	千葉	1,552	118.0	98	108.7	1,083	91.3	105	103.2	1,239	119.3	98	79.6	2,322	104.4	102	90.7
にんじん	全国	2,626	107.4	139	133.7	2,303	88.4	136	119.6	2,173	97.2	132	107.5	4,476	92.5	134	113.7
	千葉	1,965	99.8	142	131.2	1,730	86.6	139	116.4	1,714	105.2	134	104.0	3,445	95.0	137	110.4
はくさい	全国	5,602	111.4	66	102.9	4,338	87.3	72	118.0	4,392	96.6	74	100.3	8,730	91.7	73	108.8
キャベツ類	全国	5,302	102.9	120	98.2	4,794	87.3	117	86.2	4,909	105.8	95	74.1	9,703	95.8	106	80.0
	千葉	589	57.5	125	107.0	796	78.3	107	83.1	824	84.5	88	70.7	1,620	81.3	97	76.9
ほうれんそう	全国	678	142.4	546	92.7	694	150.0	386	60.9	651	128.2	310	62.3	1,344	138.6	349	62.1
	千葉	108	149.9	473	88.6	131	162.1	328	61.7	136	146.6	243	59.0	267	153.8	285	60.9
ねぎ	全国	1,960	109.3	247	105.2	1,658	90.8	241	95.4	1,519	97.0	237	84.4	3,176	93.6	239	90.0
	千葉	723	118.7	270	105.0	650	99.6	258	97.4	653	112.8	250	80.3	1,302	105.8	254	88.6
レタス類	全国	2,026	79.9	417	138.5	2,022	89.8	355	98.8	2,235	109.0	231	63.6	4,257	99.0	290	80.3
	千葉	136	95.7	471	148.8	155	111.4	354	86.0	172	107.2	223	61.9	327	109.1	285	74.2
きゅうり	全国	1,941	124.7	397	71.1	1,717	96.6	325	74.1	1,650	109.1	283	71.1	3,367	102.3	305	72.4
	千葉	369	124.2	368	70.5	352	89.8	301	74.1	314	106.5	265	71.4	666	97.0	284	72.6
なす	全国	545	116.3	457	90.3	538	93.3	412	96.5	491	103.5	391	84.4	1,029	97.9	402	90.7
	千葉	3	152.3	543	83.2	2	90.5	540	87.8	2	108.7	477	83.1	4	99.2	507	85.1
トマト	全国	1,907	117.9	360	84.1	1,572	89.4	378	94.6	1,655	110.1	394	88.3	3,227	98.9	386	91.7
	千葉	74	106.3	374	88.1	64	84.2	371	92.8	77	113.8	383	88.9	140	98.1	378	91.1
ピーマン	全国	407	107.7	777	103.5	390	89.2	765	93.1	442	109.3	608	84.7	831	98.9	682	88.3
	千葉	0	77.6	993	81.8	0	63.3	1,435	138.0	0	52.6	1,264	118.9	0	59.2	1,376	131.2
さといも	全国	359	104.6	206	96.2	311	86.5	179	79.6	261	87.5	193	88.7	572	87.0	185	83.7
	千葉	99	116.8	177	82.3	122	113.0	133	60.0	93	109.4	162	78.1	214	111.4	146	67.5
ばれいしょ類	全国	3,551	103.9	99	86.8	2,880	81.9	98	82.5	2,897	107.5	95	75.4	5,778	93.0	96	79.1
たまねぎ	全国	3,802	103.6	88	91.1	3,320	85.0	92	96.4	3,192	99.9	99	97.2	6,512	91.7	95	97.0
生しいたけ	全国	276	100.8	964	102.3	228	87.7	931	98.7	225	103.3	873	97.7	453	94.8	903	98.0
かぼちゃ	全国	1,060	91.4	146	104.6	894	68.8	146	130.4	822	66.8	150	149.1	1,716	67.8	148	139.0
さやえんどう	全国	65	103.4	926	91.5	67	106.8	913	88.0	61	120.7	827	74.6	128	113.0	872	81.5
かんしょ	全国	1,388	115.8	152	86.8	1,131	90.4	153	84.7	1,052	105.9	150	78.5	2,183	97.2	151	81.8
	千葉	805	120.0	128	85.7	637	99.0	130	81.1	607	121.2	128	75.9	1,244	108.7	129	78.7
かぶ	全国	596	125.8	145	95.1	525	106.5	133	82.1	558	119.0	118	76.4	1,083	112.6	125	79.1
	千葉	503	122.0	151	98.7	467	108.8	134	82.0	504	119.3	119	76.4	971	114.0	126	79.1
ごぼう	全国	378	118.5	260	77.2	351	110.2	244	66.7	292	113.9	248	68.8	643	111.9	246	67.7
	千葉	1	186.7	654	86.9	1	129.1	621	87.9	1	66.1	555	146.0	1	88.6	589	118.7
こまつ菜	全国	324	129.4	466	81.8	325	130.2	308	53.2	337	139.7	237	49.2	662	134.9	272	51.2
	千葉	20	102.5	467	85.3	21	133.3	311	57.0	24	142.2	236	51.4	45	137.8	271	54.1
こねぎ	全国	137	107.1	860	85.3	126	105.8	899	89.9	133	116.8	825	79.8	259	111.2	861	84.7
わけぎ	全国	7	109.3	773	87.4	6	103.2	802	89.7	6	141.6	672	69.3	13	119.1	738	79.8
糸みつば	全国	57	106.4	472	100.8	60	101.3	449	82.3	58	117.4	332	67.4	118	108.6	391	75.1
しゅんぎく	全国	123	96.7	644	82.9	119	119.4	508	61.5	109	103.6	421	65.4	228	111.3	466	63.7
	千葉	54	93.2	621	83.6	53	124.2	494	62.0	45	99.6	408	67.4	98	111.6	455	65.1
にら	全国	380	144.7	661	81.5	304	119.3	619	58.6	323	126.8	451	54.7	627	123.1	532	56.6
セルリー	全国	312	101.5	279	114.3	311	84.4	277	103.4	327	117.4	255	99.7	638	98.6	266	101.1

品目	産地	1月下旬				2月上旬				2月中旬				2月上中計			
		開市日数 本年8日・前年8日				開市日数 本年7日・前年9日				開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年14日・前年16日			
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
カリフラワー	全国	107	128.6	259	85.0	156	248.3	189	51.9	146	192.3	169	51.6	301	217.7	179	52.1
ブロッコリー	全国	804	120.2	381	101.5	996	160.0	279	67.4	944	151.4	253	63.9	1,940	155.7	266	65.8
サラダ菜	全国	31	95.7	805	97.2	31	86.7	757	96.1	31	103.7	567	70.0	61	94.5	662	82.9
	千葉	14	107.5	753	94.5	12	86.5	733	99.0	14	99.0	516	67.6	26	92.7	618	82.2
パセリ	全国	21	103.2	1,391	111.5	20	91.3	1,307	98.3	23	126.0	913	64.7	43	107.0	1,097	80.2
	千葉	12	117.8	1,401	112.4	10	102.8	1,315	97.5	11	123.9	876	61.0	21	112.6	1,090	78.4
チンゲンサイ	全国	173	106.3	339	94.4	161	104.7	295	76.9	162	117.1	231	59.3	323	110.5	263	68.1
エンダイブ	全国	8	113.4	646	115.6	7	108.4	591	95.7	6	110.0	533	55.2	13	109.2	564	72.6
ミニトマト	全国	489	130.5	585	71.8	375	98.2	752	93.2	374	125.4	763	93.5	749	110.1	758	93.4
	千葉	52	143.6	587	70.7	43	99.6	743	91.3	38	108.5	770	94.6	81	103.6	756	92.8
とうもろこし	全国	1	117.9	381	83.5	1	77.3	428	122.4	2	174.5	186	55.8	3	122.3	268	78.3
いんげん	全国	128	124.5	785	91.6	119	118.1	737	78.6	90	90.7	752	85.9	208	104.5	744	82.0
そらまめ	全国	47	88.2	628	92.1	-	-	-	-	62	164.8	574	64.0	0	-	1,005	-
えだまめ	全国	3	193.7	1,204	65.1	5	159.9	768	53.5	2	148.2	1,011	63.0	6	156.1	842	56.5
やまといも	全国	68	99.1	557	115.0	56	84.5	533	112.2	57	97.9	507	107.4	113	90.8	520	109.7
	千葉	45	108.4	560	116.0	36	86.2	526	111.2	36	94.9	499	107.7	72	90.4	513	109.4
根しょうが	全国	167	93.5	387	94.3	139	79.7	390	91.7	150	117.0	372	83.6	289	95.6	381	87.8
マッシュルーム	全国	41	108.4	830	100.5	34	95.6	837	98.5	29	103.1	873	101.9	63	98.9	854	100.1
外国産	-	1,909	79.7	230	114.5	1,707	57.7	232	120.5	1,603	60.0	226	122.6	3,310	58.8	229	121.4
果実総量	-	15,117	102.5	338	100.3	13,213	87.2	344	96.5	12,452	99.1	359	93.0	25,665	92.6	351	95.0
みかん類	全国	5,768	95.5	212	92.5	4,589	87.4	219	85.2	3,744	102.9	226	80.8	8,333	93.7	222	83.4
(ハウスみかん)	全国	1	30.2	614	93.9	1	77.6	625	103.3	3	40.4	805	82.8	4	48.0	746	83.1
(早生みかん)	全国	404	166.3	323	104.4	177	106.0	308	78.7	131	182.3	305	86.4	308	429.2	307	86.9
りんご類	全国	2,402	132.2	248	73.3	2,402	111.2	244	71.6	2,165	120.9	242	68.4	4,567	115.6	243	70.1
(ふじ)	全国	1,986	138.0	249	73.1	1,951	112.0	246	71.6	1,727	120.9	245	68.4	3,678	116.0	246	70.1
いちご類	全国	1,546	152.1	1,111	83.2	1,393	124.5	1,152	82.8	1,470	129.2	1,126	81.3	2,863	126.9	1,139	82.0
(とちおとめ)	全国	783	135.1	1,002	82.2	737	117.6	1,017	80.3	758	134.4	1,007	81.0	1,495	125.5	1,012	80.6
(あまおう)	全国	270	185.5	1,455	87.6	207	121.7	1,611	93.7	222	107.9	1,540	93.6	0	13.2	833	108.6
メロン類	全国	125	101.9	921	102.7	102	83.1	1,136	111.8	112	100.6	1,181	114.3	214	91.4	1,160	113.2
	千葉	5	95.6	998	99.0	3	52.0	1,321	108.4	3	63.0	1,519	117.2	6	57.0	1,420	113.3
(アールスメロン)	全国	93	117.7	1,048	97.5	66	89.1	1,412	110.6	69	104.7	1,510	118.5	135	96.5	1,462	114.7
	千葉	4	86.6	987	97.9	3	52.0	1,321	108.0	3	54.9	1,577	121.6	6	53.4	1,449	115.1
ぶどう類	全国	32	170.0	366	83.0	23	147.4	382	82.0	14	110.5	432	91.1	37	130.9	401	85.4
くり	全国	0	70.8	819	154.7	1	228.4	489	110.3	0	88.3	591	102.7	1	186.9	504	104.3
かき類	全国	264	248.2	305	69.6	148	614.5	313	67.2	130	199.5	317	75.6	278	311.9	315	72.9
外国産	-	1,713	81.5	158	119.1	1,516	73.6	164	120.6	1,428	80.0	165	110.7	2,944	76.6	164	115.8

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。 -は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料：東京青果物情報センター速報

2 3月の見通し

野菜類

関東と東海、九州・四国の西南暖地が中心産地となります。

1 1月中旬から2月下旬まで続いた低温や寒波の影響により、野菜類全般に生育の遅れや小型、小玉傾向が見られますが、気温の上昇や日照の確保により回復傾向となり、入荷量は多くの品目で前年並からやや下回る程度となる見込みです。

価格は、「にんじん」「ほうれんそう」等一部品目を除き、高値で推移した前年を大幅に下回る見込みです。

果実類

「みかん類」「りんご類」「いちご類」が中心に出回ります。

入荷量は、前年不作の「りんご類」が大幅に、「みかん類」「いちご類」が前年をやや上回り、全体では前年をやや上回る見込みです。

価格は、「みかん類」「りんご類」が前年を大幅に下回り、「いちご類」は前年をやや下回ります。全体では前年をかなり下回る見込みです。

東京都中央卸売市場における3月の見通し

()は単位

品目	入 荷 量				単 価				千葉県産実績	
	見込み (t)	前年実績 (t)	前年比 (%)	5ヶ年平均 (t)	見込み (円/kg)	前年実績 (円/kg)	前年比 (%)	5ヶ年平均 (円/kg)	前年入荷量 (t)	前年占有率 (%)
だいこん	11,500	11,311	101.7	12,290	100	145	69.0	92	3,824	33.8
にんじん	6,900	7,187	96.0	7,348	145	150	96.7	149	3,881	54.0
はくさい	8,950	9,415	95.1	8,276	90	125	72.0	98	2	0.0
キャベツ類	18,000	18,469	97.5	16,647	95	115	82.6	103	2,470	13.4
ほうれんそう	1,600	1,615	99.1	1,605	370	390	94.9	365	322	19.9
ねぎ	4,550	4,532	100.4	4,480	280	330	84.8	297	2,158	47.6
レタス類	7,300	7,340	99.5	7,683	230	291	79.0	208	361	4.9
きゅうり	5,500	5,491	100.2	5,967	350	426	82.2	340	829	15.1
トマト	5,600	5,445	102.8	5,643	400	544	73.5	425	256	4.7
かんしょ	2,900	2,783	104.2	2,787	180	194	92.8	197	1,413	50.8
さといも	810	820	98.8	785	220	229	96.1	251	272	33.2
みかん類	3,500	3,311	105.7	3,347	270	321	84.1	271	0	0.0
りんご(ふじ)	5,600	3,918	142.9	5,917	270	384	70.3	254	0	0.0
いちご類	5,200	4,943	105.2	5,304	1,050	1,109	94.7	984	60	1.2

前年比10%以上

前年比10%以下

3 品目別生産出荷概況

なばな

産地	24年3月 入荷量(※)	24年3月 シェア率
千葉	397 t	67.7 %
香川	77 t	14.5 %
徳島	11 t	3.5 %

※東京都中央卸売市場取扱実績(青果物情報センター)

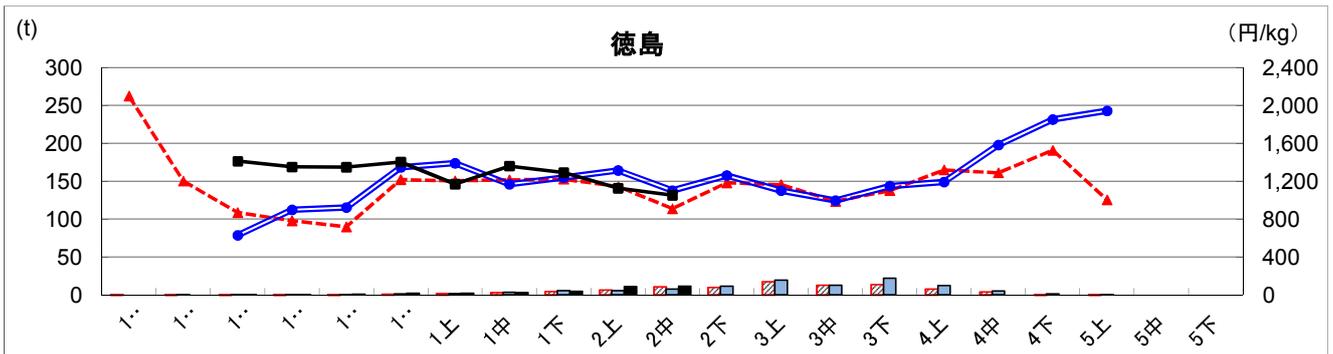
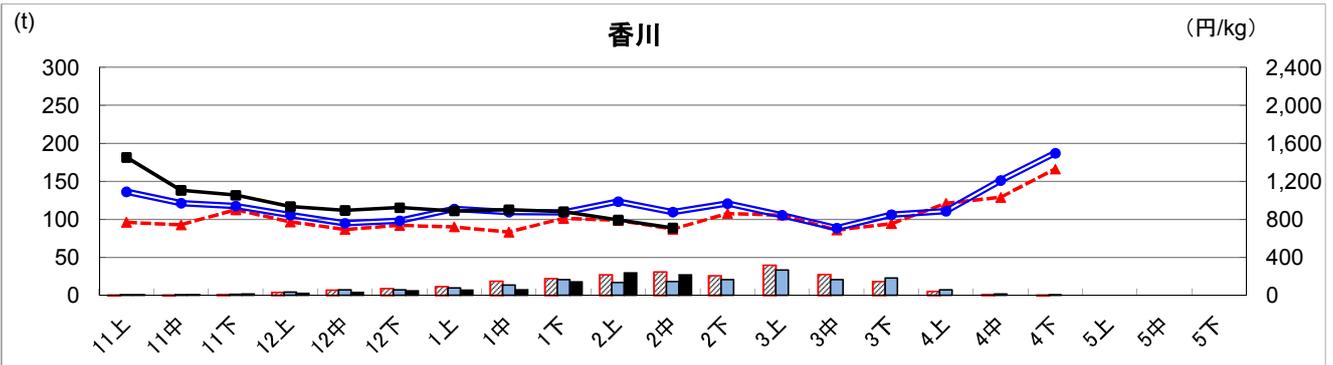
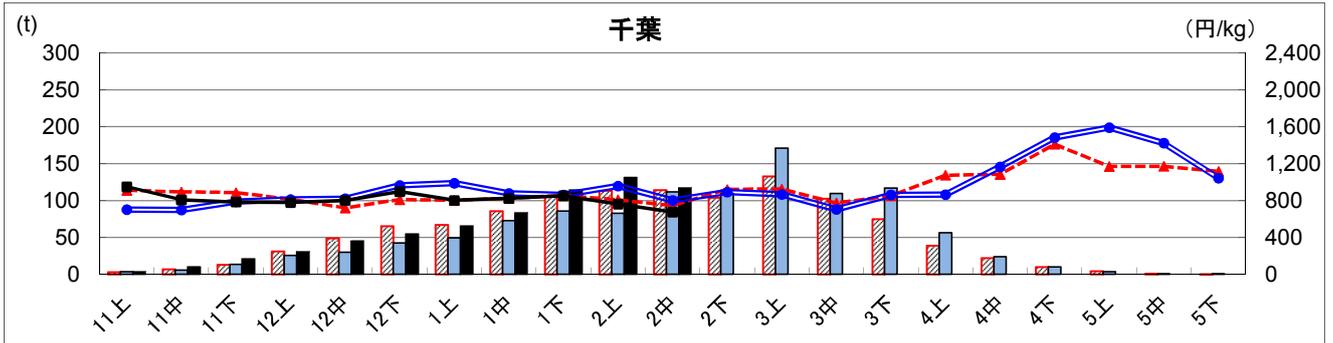
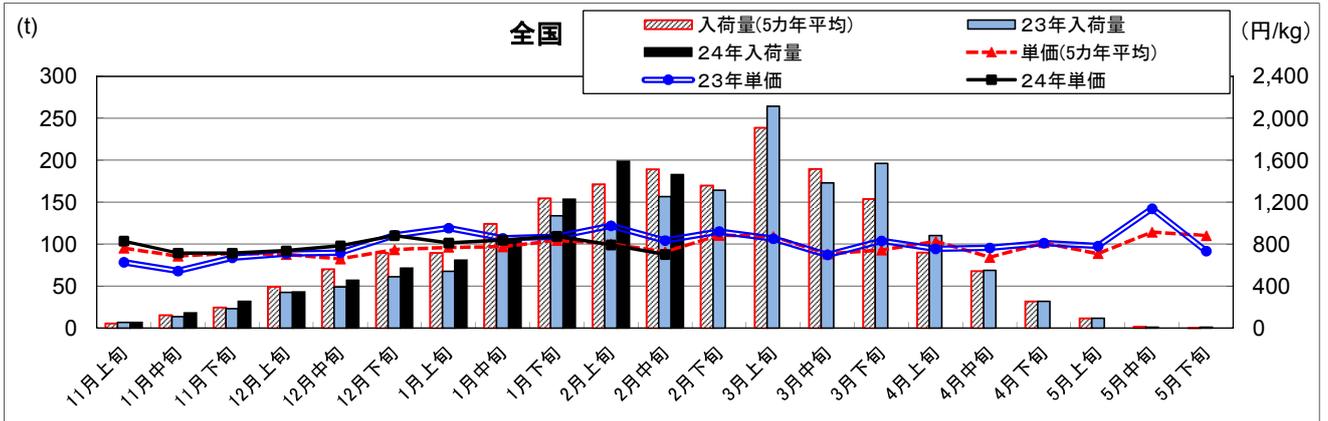
今後の競合産地の動向は?

なばなの入荷時期は主に12月から4月で、主要産地は千葉県、香川県、徳島県等、温暖な地域になります。

本年のなばなの入荷量は、低温の影響で少なめに推移しましたが、1月下旬に寒気がゆるみ、2月上旬は平年よりも大幅に増加しました。

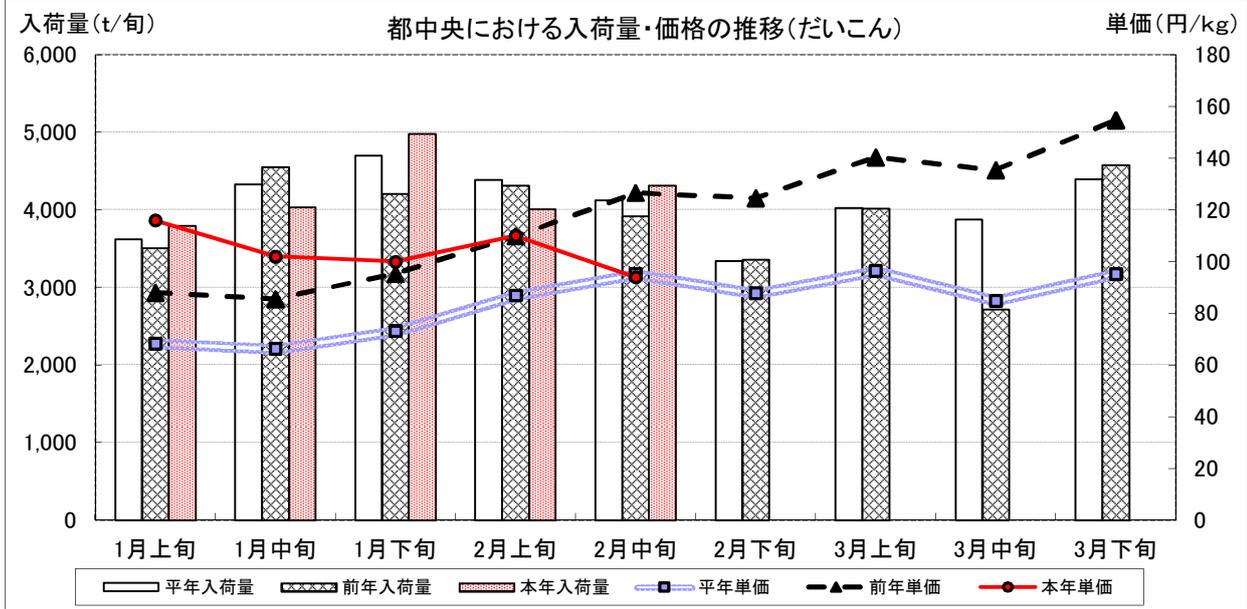
3月3日の節句を前に、需要が高まっていますが、各産地、2月中旬以降の寒波により生育が停滞しており、少ないまま推移しそうです。

今後、入荷が増加するのは、気温の上昇にともない側枝が伸長する3月中下旬頃になる見込みです。



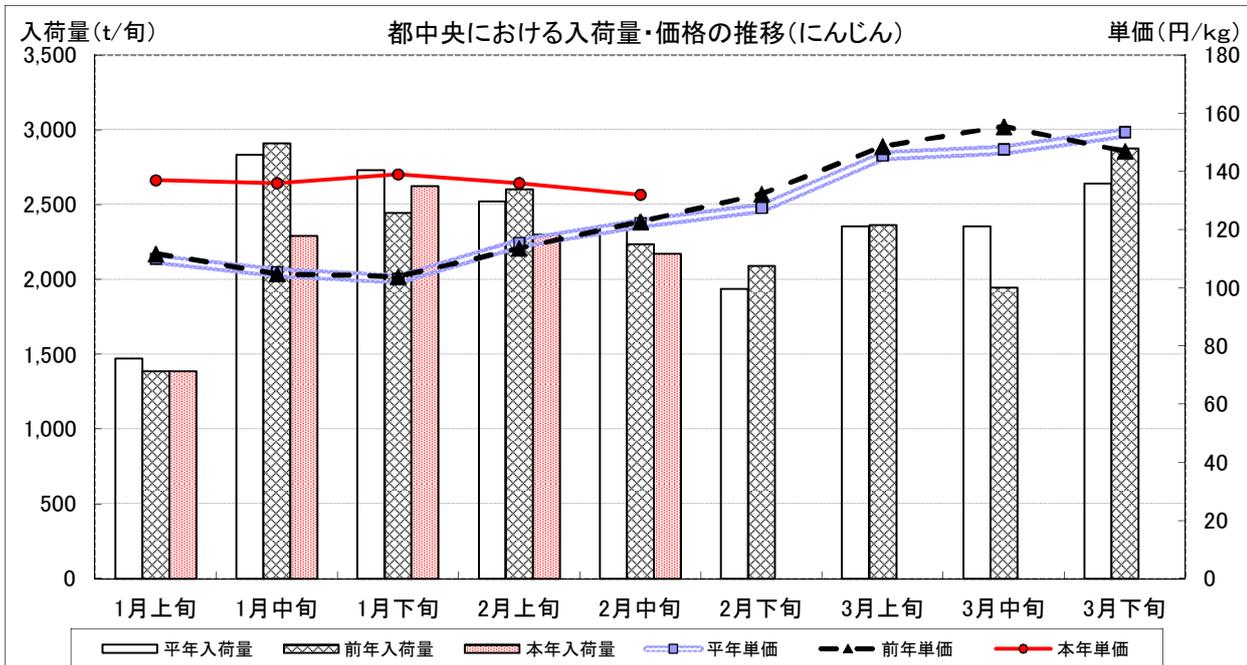
だいこん

入荷予測	11,500t(前年比101.7%、平年比93.6%)
価格予測	100円(前年比69.0%、平年比108.7%)
市況予測	上旬:弱保合、中旬:保合、下旬:強保合
主産地の概況	神奈川県:11月中旬以降の低温の影響で生育は停滞している。今後、気温の上昇とともに回復傾向にあるものの、出荷量は少なかった前年並の見込み。 千葉県:寒さが厳しく生育は10日程度の遅れとなっているが、品質は良好。小ぶりの傾向が見られるため、出荷量は少なかった前年並の見込み。



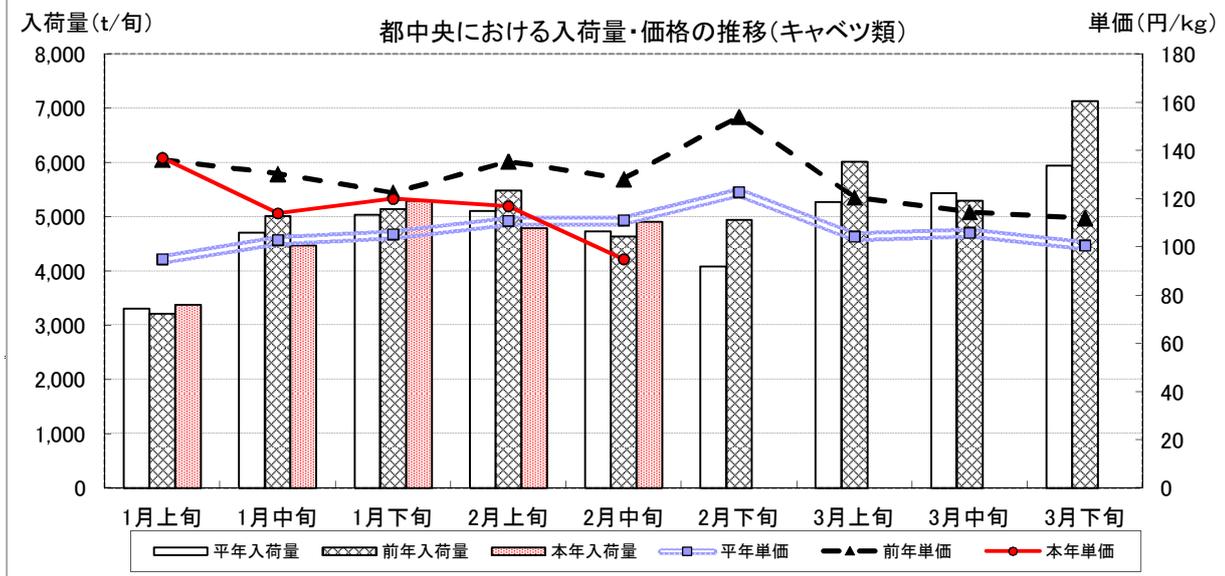
にんじん

入荷予測	6,900t(前年比96.0%、平年比93.9%)
価格予測	145円(前年比96.7%、平年比97.3%)
市況予測	上旬:強保合、中旬:強保合、下旬:保合
主産地の概況	千葉県:低温の影響で、は種時期の遅いほ場では肥大が進まず小ぶり出荷となっている。また、シミや割れ等の発生もあり、規格外が多めである。このため、出荷量は前年をかなり下回る見込み。 徳島県:生育は低温の影響でやや遅れが見られるものの、気温の上昇と日照時間の確保により回復見込み。出荷量は少なかった前年を大幅に上回る見込み。



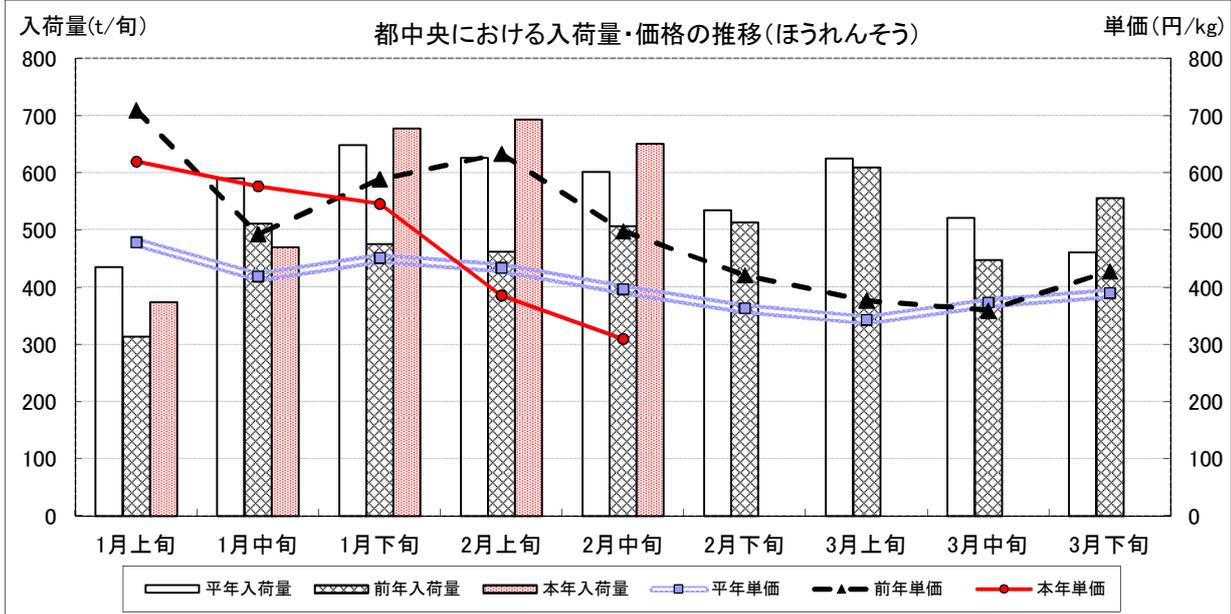
キャベツ類

入荷予測	18,000t(前年比97.5%、平年比108.1%)
価格予測	95円(前年比82.6%、平年比92.2%)
市況予測	上旬;弱保合、中旬;弱保合、下旬;保合
主産地の概況	愛知県;生育は順調。出荷量は多かった前年並の見込み。
	千葉県;低温の影響で生育は10日程度遅れているものの、気温の上昇により回復傾向。出荷量は多かった前年をやや下回る見込み。
	神奈川県;低温の影響で小玉傾向であり、降雪による品質低下が懸念される。出荷量は、少なかった前年をかなり下回る見込み。



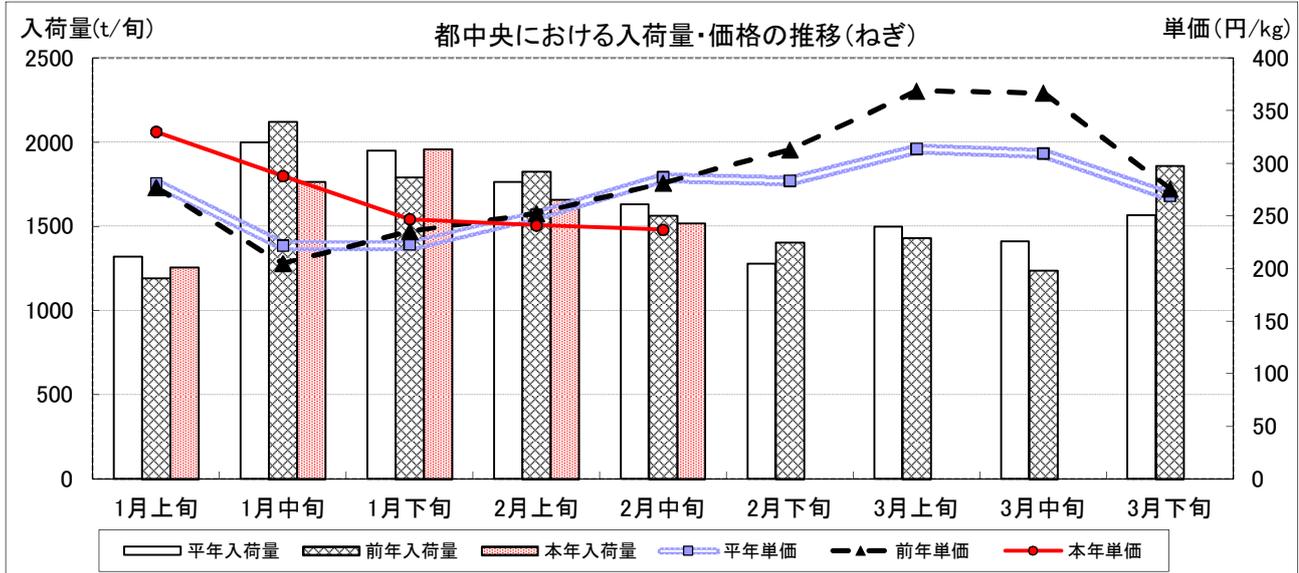
ほうれんそう

入荷予測	1,600t(前年比99.1%、平年比99.7%)
価格予測	370円(前年比94.9%、平年比101.4%)
市況予測	上旬;保合、中旬;保合、下旬;弱保合
主産地の概況	群馬県;低温の影響による生育遅れも見られたが、概ね回復傾向にあり、出荷量は前年をやや下回るものの平年並の見込み。
	茨城県;生育は順調。出荷量は前年をやや上回る見込み。
	千葉県;低温や降雪の影響で生育に遅れが見られるものの、気温の上昇に伴い回復傾向にある。病害虫の発生も少なく、品質は良好。出荷量は前年並の見込み。



ねぎ

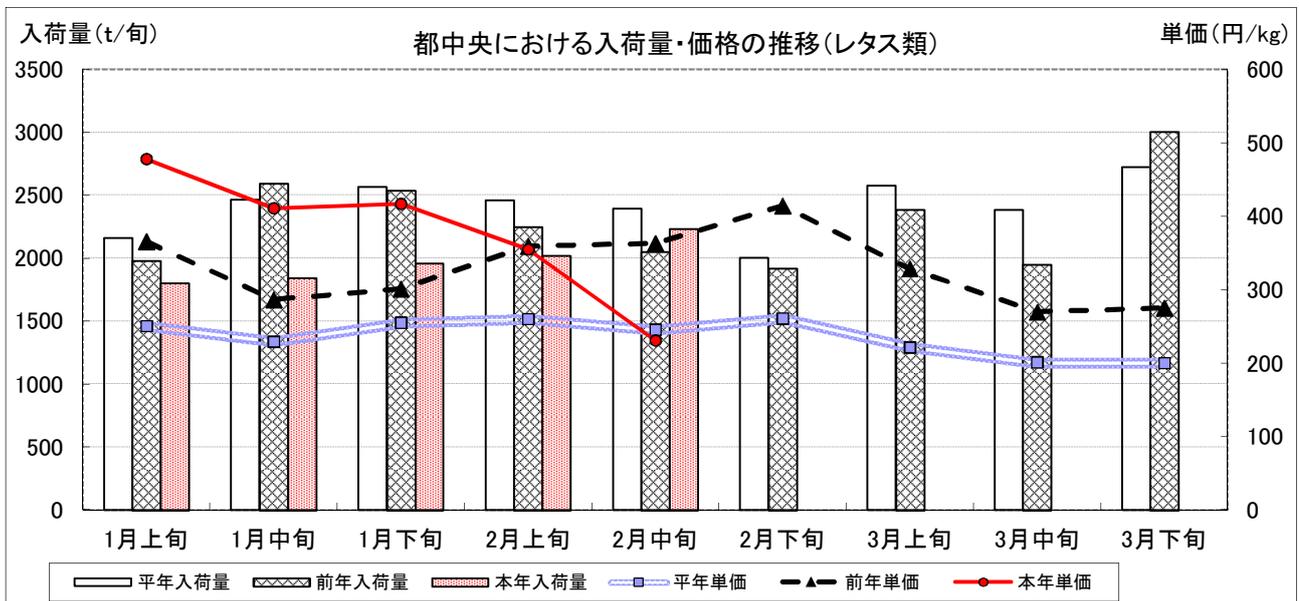
入荷予測	4,550t(前年比100.4%、平年比101.6%)
価格予測	280円(前年比84.8%、平年比94.3%)
市況予測	上旬;強保合、中旬;保合、下旬;強保合
主産地の概況	千葉県:低温の影響で生育は10日程度遅れているものの、気温の上昇とともに回復見込みであり、出荷量は前年をやや上回る見込み。 埼玉県:低温・乾燥の影響で生育に遅れが見られ、細め出荷となっている。このため、出荷量は前年をやや下回る見込み。



資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。
資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

レタス類

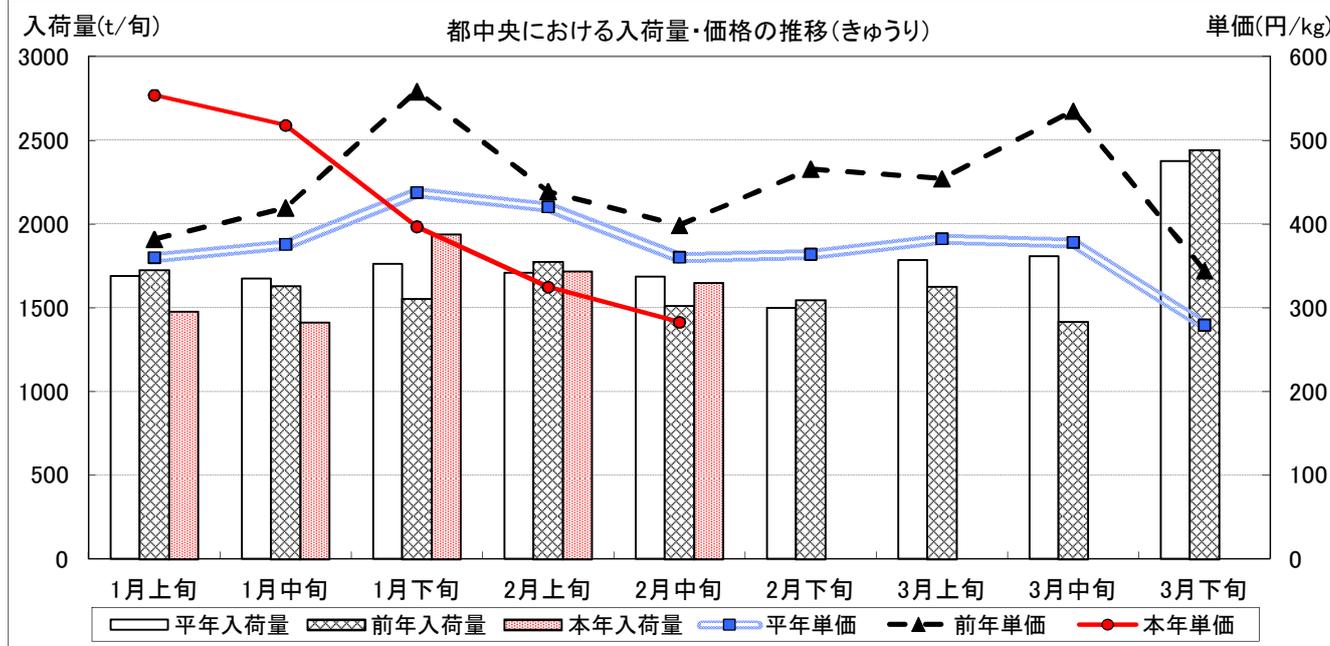
入荷予測	7,300t(前年比99.5%、平年比95.0%)
価格予測	230円(前年比79.0%、平年比110.6%)
市況予測	上旬;弱保合、中旬;保合、下旬;弱保合
主産地の概況	茨城県:低温の影響で生育は10日程度遅延している。3月上中旬からの出荷となるが、出荷当初は小玉傾向となるため、出荷量は少なかった前年をやや下回る見込み。 静岡県:低温の影響により生育に遅れが見られ、小玉傾向であるものの、順調に回復中。出荷量は多かった前年並の見込み。 香川県:低温の影響で生育は10日程度遅れ小玉傾向で推移している。気温の上昇と適度な降雨により回復傾向にあるものの、出荷量は少なかった前年並の見込み。



資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

きゅうり

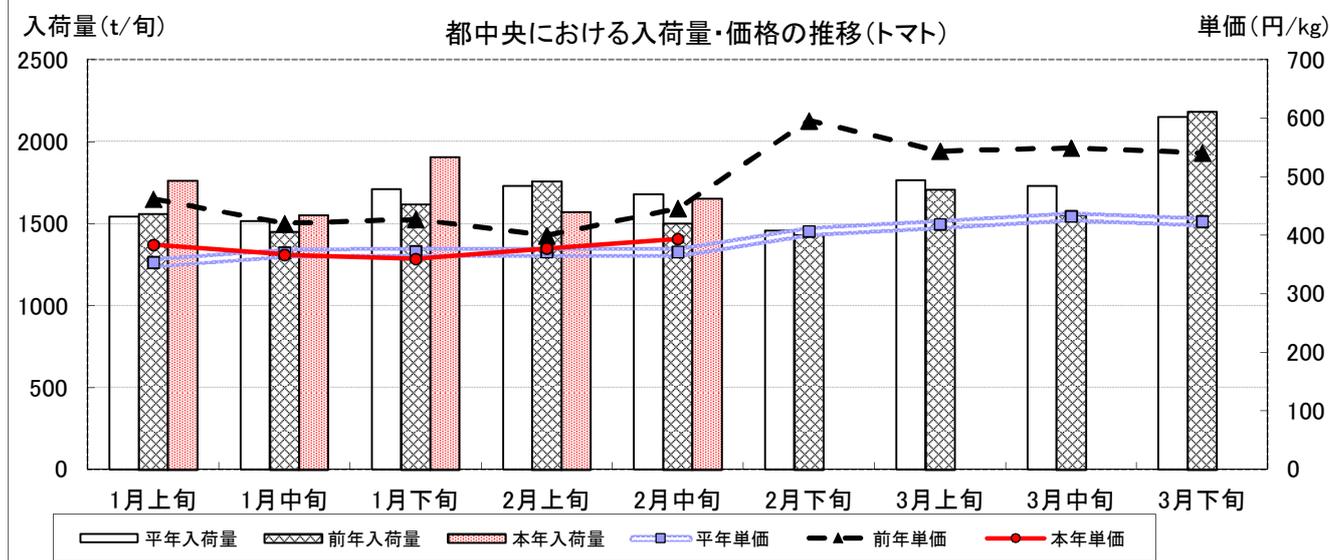
入荷予測	5,500t(前年比100.2%、平年比92.2%)
価格予測	350円(前年比82.2%、平年比102.9%)
市況予測	上旬;強保合、中旬;保合、下旬;弱保合
主産地の概況	群馬県:低温の影響による遅れやバラツキが見られるため、出荷量は少なかった前年並の見込み。
	埼玉県:低温の影響で生育は若干遅れている。日照時間が確保されているため回復傾向にあるものの、出荷量は少なかった前年並の見込み。
	千葉県:11月下旬以降の低温と日照不足により果実の肥大が停滞していたが、気温の上昇と日照の確保により回復見込み。このため、出荷量は少なかった前年をかなり上回る見込み。



資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

トマト

入荷予測	5,600t(前年比102.8%、平年比99.2%)
価格予測	400円(前年比73.5%、平年比94.1%)
市況予測	上旬;保合、中旬;強保合、下旬;保合
主産地の概況	熊本県:生育は順調。出荷量は前年並の見込み。
	栃木県:低温による着色の遅れが見られるものの、玉伸びは良好で全体的には順調。出荷量は前年をやや上回る見込み。
	愛知県:生育は順調。出荷量は前年をやや上回る見込み。



資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

II 花き情報

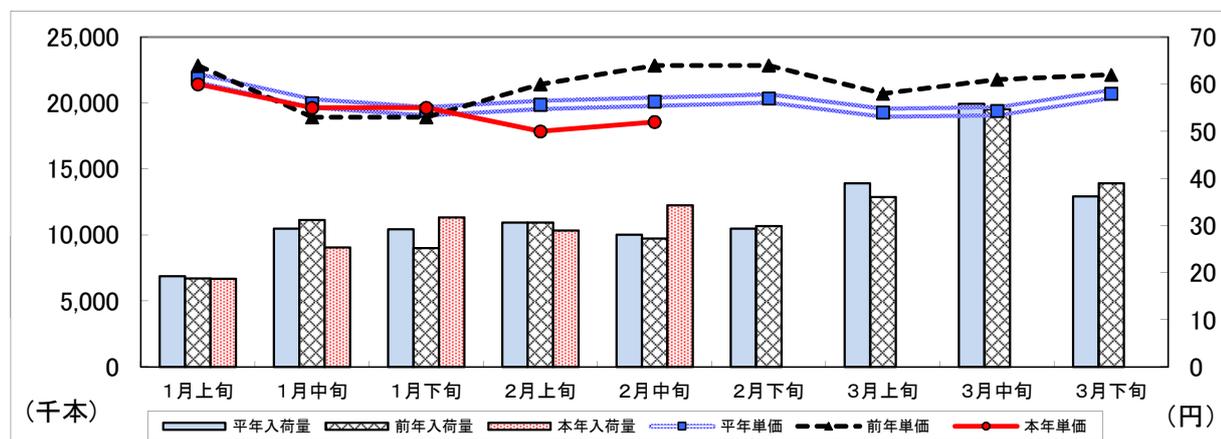
1 2月の経過（切花）

上旬は入荷量が少なかったものの引合いも弱く、単価は前月よりかなり下落しました。中旬にはバレンタイン需要がある一方で、入荷量も増加したことから、相場は小幅高となりました。

（1）販売経過（東京都中央卸売市場大田市場）

入荷量	上旬	低温による生育遅延のため、入荷量は平年を下回った。
	中旬	寒さで生育が遅れていた品目の一部で出荷が進んだことや、バレンタイン向けの出荷が増えたことで入荷量は増加し、平年を上回った。
相場	上旬	入荷量は少ないものの、大きな需要イベントがないことから引き合いは弱く、単価は下落し平年を下回った。
	中旬	バレンタインの需要がある一方で、入荷量は平年よりも増加した。このため、単価は上昇したが平年を下回った。
品目等	上旬	ストックは、生育が遅れていた分の開花が進んだことから平年を上回る入荷量となった。
	中旬	バラ類は、バレンタイン需要から平年をかなり上回る入荷量となった。

（2）入荷量と単価の経過〔株大田花き（切花）〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成
平年値は過去3カ年の平均

（3）品目別経過

（上～中旬）

カーネーション	「大田花き」生育の遅れは取り戻しつつあり入荷量は増加したが、大きな需要が無いことから相場は厳しい展開となった。 「東日本板橋」これといった需要もなく価格は下がる。国内産の出荷が減っている一方で、輸入物が増加した。
ストック	「大田花き」月初めは、寒さで遅れていた分が一気に出荷となり、入荷数量が増加したが、中旬からは冷え込みの影響で減少した。大きな需要もないことから落ち着いた取り引きとなった。 「F A J」気温の高い日が数日続いたこともあり千葉を中心に入荷は順調。相場は弱保合であった。 「フラワーポート」価格は先月に比べてかなり安くなった。
カラー	「大田花き」千葉・愛知より湿地性中心の入荷で上位等級中心。相場は中旬以降厳しい状況であった。 「F A J」熊本・千葉・輸入中心の入荷。宴会需要が少なく、落ち着いた販売が続いた。 「世田谷花き」入荷量は増えてきたが、販売面では厳しい状況であった。
キンセンカ	「大田花き」入荷量は例年並みであるが、寒さにより長さが出ておらず40cmが中心となった。

2 3月の見通し

カーネーション

産地の見通し							
主要産地	作付面積 h a (前年比)	3月出荷見込み		3月のピーク			作柄及び概況 ①生育状況や品質、②主な品種名と出荷割合、 ③産地の動きや新たな取り組み
		出荷全体	京浜地域	上	中	下	
	千本 (前年比)	千本 (前年比)					
南房総市 (富浦、三芳、丸山、和田) 鴨川市 鋸南町	22.0	3,570	1,220	30	40	30	①一部の品種で生育の遅れが見られるが、3月は平年並みの出荷量となる見込み。品質は良好。 ②ST系とSP系はほぼ50%ずつ。 ③JA安房カーネーション部会では2月18日に圃場巡回を実施し、生育状況が概ね良好であることを確認した。
	100%	100%	100%				
香取市 東庄町	3.0	300	300	30	35	35	
	100%	100%	100%				
愛知県		3,500	1,225	30	33	37	①寒さの影響があり、出荷量は少なかった昨年をわずかに上回る程度。 ②バーバラ系、テッシノ系、エクセリア、シベリア等
		102%	100%				
市場の見通し							
大田花き	国内からは安定出荷となる見通し。輸入に関しては円安の影響や国内産地からの出荷を加味し例年並～やや減となると予想。						
F A J	彼岸に向けて入荷数量はさらに増える見込み。歓送迎会や卒業式もあり、単価は上昇すると予想。						

キンセンカ

産地の見通し							
主要産地	作付面積 h a (前年比)	3月出荷見込み		3月のピーク			作柄及び概況 ①生育状況や品質、②主な品種名と出荷割合、 ③産地の動きや新たな取り組み
		出荷全体	京浜地域	上	中	下	
	千本 (前年比)	千本 (前年比)					
南房総市 (白浜、千倉、和田)	40	2,187	1,458	30	60	5	①低温の影響で生育が停滞気味であり、3月の出荷量は平年を下回る見込みである。 ②共選出荷品種はオレンジスター100%。
	100%	90%	90%				
市場の見通し							
大田花き	寒さの影響で40cmメインの入荷となる見込み。今後の天候次第だが、入荷数量が平年より減少する可能性がある。						
世田谷	入荷量は平年並～若干減。平年に比べ短い等級中心の入荷となる見込み。						

ストック

産地の見通し							
主 要 産 地	作付面積 h a (前年比)	3月出荷見込み		3月のピーク			作 柄 及 び 概 況 ①生育状況や品質、②主な品種名と出荷割合、 ③産地の動きや新たな取り組み
		出荷全体	京浜地域	上	中	下	
		千本 (前年比)	千本 (前年比)				
館山市（神戸、西岬） 南房総市（白浜の長尾、千倉、丸山、和田） 鴨川市	39.3	2,600	1,950	30	50	20	①施設栽培は平年並みの出荷量を見込むが、露地栽培は12月の低温の影響で生育が若干遅れ気味。 ②施設栽培では、スタンダードがアイアン中心で雪波、朝波が増加。スプレーはカルテット中心。露地栽培は彼岸王とファミリーシリーズ。 ③J A安房西岬共撰部会では2月28日の出荷査定会で、出荷規格の徹底を図った。
夷隅地域	2.0	24	24	40	30	30	①低温の影響で遅れていた開花も、気温の上昇とともに進んできている。病害虫の発生は少なく、品質は良好である。 ②カルテットシリーズが中心である。
市場の見通し							
大田花き	千葉県産が中心。出荷数量は天候次第で変わるが、今後、彼岸王やファミリー系などが増えてくる見込み。						
F A J	潤沢な入荷となるが、スタンダードは例年に比べると少なめである。						

菜の花

産地の見通し							
主 要 産 地	作付面積 h a (前年比)	3月出荷見込み		3月のピーク			作 柄 及 び 概 況 ①生育状況や品質、②主な品種名と出荷割合、 ③産地の動きや新たな取り組み
		出荷全体	京浜地域	上	中	下	
		千本 (前年比)	千本 (前年比)				
南房総市（和田、丸山、千倉） 館山市、鴨川市	32.0	1,000	450	50	40	10	①年内から2月初旬までの低温の影響で生育は停滞気味であるが、節句需要に向けて今後出荷量は増えていく見込み。 ②品種は江月。
	100%	100%	100%				

3 特ダネ・花前線

(1) Photoレポート in 大田市場



【若手生産者が大田市場に集結】

45才以下の生産者・流通関係者・小売業者で構成された「全国花き業界若手の会」によるPR活動が1/28～2/1に東京都中央卸売市場大田市場で行われました。最終日の2/1には若手生産者が来場し、セリや仲卸店頭でのPR活動のほか、関係者を交えた情報交換会が開催されました。



【フラワーバレンタイン PR活動活発に】

2/14のバレンタインデーに向け、各所でPR活動が活発に行われました。写真は有楽町駅前のソニービルに登場した、バラで作られたオブジェです。



【高知の花き出前授業】

2/20大田花き(株)のセリ終了後に、高知県の関係者(生産者・JA・県専技・普及員)による「出前授業」が行われました。当日は産地PRの後、買参人との意見交換が行われ、商品特性に関する質問や規格等への要望等について熱心に話し合われました。



【春を告げる啓翁桜のPR】

春を告げる商材として近年注目を集めている啓翁桜のPRが、盛んに行われました。

大田市場では2/11からJAつがる弘前による展示が行われたほか、2/16日にはJA全農山形と卸・小売の連携により啓翁桜まつりが築鴨で開催されました。

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

1. 青果物

単位：t、円/kg、%

品目	1月				累計（H24.4月～H25.1月）	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
野菜	22,947	196	100	103	254,696	166
だいこん	2,856	100	95	120	31,943	78
にんじん	1,296	132	82	132	16,568	124
はくさい	2,724	68	101	128	20,182	56
キャベツ	3,801	106	100	94	46,768	68
ねぎ	1,135	244	91	123	10,459	244
トマト	773	382	108	85	12,383	361
きゅうり	676	459	108	101	10,684	249
ばれいしょ	1,720	95	99	88	15,494	92
たまねぎ	1,954	80	112	87	17,685	96
レタス	732	422	89	146	12,042	169
果実	6,070	300	91	100	71,337	268
みかん	2,491	194	87	97	14,863	208
かき類	153	258	323	61	4,822	192
グレープフルーツ	131	159	71	109	2,530	146
なし類	11	293	160	86	5,692	299
ぶどう類	15	424	115	110	2,342	602
いちご類	598	1,102	115	92	2,173	969
すいか類	6	321	164	100	7,323	166
メロン類	39	544	80	93	3,803	329
バナナ	600	131	84	137	8,336	111
りんご	671	228	112	68	5,564	289
その他	284	231	101	95	2,716	188
青果物合計	29,301	218	98	101	328,749	188

2. 花き

単位：千本（鉢）、円/本（鉢）、%

品目	1月				累計（H24.4月～H25.1月）	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
切り花	2,014	57	95	105	27,624	52
きく	677	66	76	126	9,481	58
バラ	91	63	123	77	1,217	56
カーネーション	186	41	95	102	3,680	38
枝物	57	75	107	90	1,145	90
鉢物	63	131	90	101	1,303	127
その他	2	101	100	306	41	110
花き合計	2,136	60	95	105	30,113	57

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示す。

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

や っ ら ゃ ば 閑 話

「変化する時代に生き残る」

1月から大河ドラマ「八重の桜」が始まりました。大河ドラマ好き、綾瀬はるか好きの私としては、日曜日の夜が楽しみで仕方ありません。

さて、今回のドラマの時代は幕末期、黒船がやってきて日本中が震撼するわけですが、今のようにテレビがあるわけでもネットがあるわけでもありません。人々は詳細について何もわからないまま「これまでと同じ生活をしていけるのだろうか」と漠然と不安を感じていたのでしょう。

そのような中、「敵を倒すには敵を知らなければいかん」と幕府に内緒で優秀な人材を海外留学させたのが長州藩、薩摩藩でした。莫大な資産を投じ、命掛けで他国の技術や文化を学び、日本の未来に生かそうとしたわけです。

およそ10年前、コンビニ業界の方からお話を伺う機会がありました。当時、コンビニの売上高は伸び率が鈍化しつつも、毎年、前年比増となっており、百貨店やスーパー等に比べて好調な業界という印象でした。

しかし、お話下さった方は既に強い危機感を抱いており「首都圏ではあまり感じないかもしれませんが、地方の少子化、過疎化は深刻です」との話が印象的でした。その後2007年まで伸び悩みの時期が続きます。

その間コンビニは、惣菜や生鮮食品の充実、宅配サービスの導入など、若者が利用する場所から高齢層が便利に使える場所へとシフトを図ってきました。ある大手コンビニ会社のデータでは、来店客数のうち50歳以上の割合が16%（平成11年）から30%（平成23年）まで増加し、ここ1～2年は売上高、客単価ともに前年比増となっています。

変化には時間がかかります。けれど、危機をいち早く察知し、事業転換を試みたからこそ、少子化の波にのまれず、成長を続けているのでしょう。

他県の方とお話をする機会が多い東京の事務所では「千葉県」がいかに恵まれているか、ということに改めて気付かされます。県内でも問題となっている高齢化や後継者不足は地方ではもっと深刻だったり、輸送コストの問題で出荷市場を見直す産地があったり。一方で、他県の販売に対する力の入れ方に圧倒されることもあります。出荷期間中、九州から何度も市場に足を運び情報交換を行う産地、他業種と連携して消費者を巻き込んだPR活動を展開する産地。。。

今は、一個人が世界中とつながることができる時代。江戸時代のように、勝手に他藩へ出かけたら再び戻ることが許されない、なんてこともありません。色々な場所に出かけ、色々な人と話し、常に自分の立ち位置、今後の方向性を見据えて、「しなやかに」「したたかに」生きたいものです。

幕末、明治時代をエネルギーに生き抜いた新島八重さんの一生、これからも目が離せません。
(色鳥)

首都圏掲示板



京王ストア桜ヶ丘店にて「千葉の食・総合フェア」を開催！

このたび、首都圏量販店でのセールスプロモーションの一環として、千葉の食全体の魅力発信を行うため、(社)千葉県観光物産協会と連携を図り、青果・水産・畜産物に干物や煎り落花生等の物産品を加えた「千葉の食・総合フェア」を2月15日(金)～17日(日)に京王ストア桜ヶ丘店で実施しました。

当日の店頭には、旬の冬春野菜や新鮮な鮮魚、こだわりの加工品が多数並べられました。また、売り場では試食が積極的に行われたほか、色とりどりのノボリ等の販促資材が賑やかに飾り付けられ、フェアの雰囲気盛り上げていました。

訪れた消費者は千葉の持つ多彩な食の魅力を再認識していました。



①



②



③



④



⑤

①青果品売り場、②物産品売り場、③水産品売り場、④米売り場、⑤畜産品売り場